

指定管理者議案説明資料

所管 教育委員会生涯学習部生涯学習推進課

施設の名称（所在地）	札幌市青少年科学館（厚別区厚別中央 1 条 5 丁目）及び 札幌市天文台（中央区中島公園）
選定方法	非公募（別紙 1 参照）

1 施設の概要

(1) 設置条例	ア 札幌市青少年科学館条例 イ 札幌市都市公園条例
(2) 設置目的	ア 科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図るため イ 青少年を始めとする一般市民の天文科学に関する知識の啓発普及を行うとともに、天文学上の観測及びその記録の収集を行うため
(3) 施設の事業内容	ア 科学及び科学技術に関する資料及び装置の展示 イ プラネタリウム及び天文台による天文知識の普及啓発 ウ 科学に関する図書その他の資料等の収集、配布及び提供 エ 科学及び天文に関する実習、実験及び講習会等の開催 オ 科学館が収集し、又は展示する資料、装置等に関する調査研究及び他機関との協力 カ その他青少年科学館等の設置目的を達成するために必要な事業
(4) 現在の指定管理者等	公益財団法人札幌市生涯学習振興財団
(5) 指定管理費	367,447 千円（4 年度予算額） ※利用料金制度

2 指定管理者として指定する団体の概要

名 称	公益財団法人札幌市生涯学習振興財団
所 在 地	札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1 番 10 号
代 表 者 名	理事長 長谷川 雅英
設立年月日	平成 11 年 4 月 1 日
設 立 目 的	札幌市における生涯学習の普及振興に資する事業を行うとともに、市民の学習活動を総合的に支援し、もって生涯学習の推進に寄与することを目的とする。
基 本 金	50,000 千円（札幌市出資額 25,000 千円、出資割合 50%）
職 員 数	41 人（令和 4 年 10 月 1 日現在） ※役員及び嘱託職員、臨時職員等を除く。
事 業 概 要 （令和 3 年度）	(1) 学習機会提供・活動支援事業 多様なニーズに対応した学習機会や学習成果の発表の機会を提供する（さっぽろ市民カレッジ、生涯学習関連講座等）。

	(2) 学習支援者活用・育成事業 関係機関と連携し、市民活動及びまちづくり活動を担うことができる人材を育成する（市民講師育成事業、生涯学習関連施設職員研修等）。 (3) 生涯学習センター管理運営事業 生涯学習に関する情報の提供、施設の維持管理等を行う（貸室事業、学習相談・情報提供等）。 (4) 科学及び科学技術普及振興事業 青少年を主とした幅広い年齢層を対象に最新の情報や技術に触れる機会を提供する（科学に関する教室・講座、科学に関する情報の収集・提供等）。 (5) 青少年科学館等管理運営事業 施設機能をいかした科学及び科学技術に関する知識の普及啓発と創造性豊かな青少年の育成を図るために必要な施設の維持管理を行う（展示関連事業、天文関連事業等）。
決 算 (令和3年度)	収 入 827,826,854円 支 出 776,930,628円

3 指定期間

令和5年（2023年）4月1日から令和10年（2028年）3月31日まで

4 選定結果

別紙2のとおり

5 事業計画

項 目	事 業 内 容
科学及び科学技術に関する資料及び装置の展示	「見て、触れて、考える」の展示コンセプトに基づき、リニューアル後の展示物を含め、各展示物の解説、実演に努める。小中学校の長期休業期間には、旬の話題や先端科学などを盛り込んだ特別展を開催する。
科学に関する実習、実験及び講座等の開催	実験ショーや科学教室・工作教室を通して、身近な現象や原理を楽しみながら体験できる機会を提供するとともに、企業・団体等と連携し、多様な学習機会を提供するなど、市民と科学の架け橋として学びの場をコーディネートする。また、新規の事業として、市内の小中学生を対象とした学習指導要領を踏まえた内容の学習実験室の実施や保護者も一緒に触れあいながら学ぶことができる親子科学教室などを実施することで、世代を超えた学習活動を支援する。
プラネタリウム及び天文台による天文知識の普及啓発	最新のプラネタリウムの映像表現等を用い、通常投影や学習投影、特別投影を通して、宇宙・天文への興味・関心を喚起する。また、天文台では、珍しい天文現象に合わせて、特別観覧会を実施する。

展示資料等に関する調査研究及び関係機関等との協力	職員一人ひとりが各種事業、館内サービス等に関する調査・研究を行い、常により良い科学館を目指すとともに、道内外の博物館や科学館と連絡、調整を密にとり、職員の専門性の強化や事業の充実化を図る。
科学に関する図書その他の資料等の収集、配布及び提供	広く最新科学及び科学技術の情報収集に努め、アイデア資料として学習支援に活用するとともに、天文台等において撮影した天体写真については、館内掲示やホームページ上で公開する。
その他科学館の設置目的を達成するために必要な業務	多くの市民に科学館や事業の魅力を知ってもらうため、ホームページ等を通じて広報活動を行う。オンラインを活用し、幅広い世代への学習支援を行う体制を整備する。
施設の利用等に関する業務	来館者が気軽に観覧できるよう、スムーズに入場券を発券し、窓口での明るく誠実な対応を行う。展示室やプラネタリウムにおいても、わかりやすい案内表示や会場内スタッフを配置し、利用者へのサービス向上に努める。
売店運営事業ほか（自主事業）	科学に関するグッズや実験キット等を販売し、科学への興味・関心を高めることで科学を育てるまちづくりに貢献する。

6 収支計画

（単位：千円）

項 目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					
	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
施設総収入	326,447	460,629	460,629	458,229	457,429	2,163,363
指定管理業務に係る収入	326,447	444,629	444,629	442,229	441,429	2,099,363
指定管理費	325,769	349,105	349,105	349,105	349,105	1,722,189
利用料金	0	93,340	93,340	90,940	90,140	367,760
その他の収入	678	2,184	2,184	2,184	2,184	9,414
自主事業等収入 （うち指定管理業務充当分）	0 (0)	16,000 (0)	16,000 (0)	16,000 (0)	16,000 (0)	64,000 (0)
施設総支出	326,447	458,207	458,198	455,798	454,998	2,153,648
指定管理業務に係る支出	326,447	445,364	445,364	442,964	442,164	2,102,303
自主事業等支出	0	12,843	12,834	12,834	12,834	51,345
収支の差額	0	2,422	2,431	2,431	2,431	9,715

※ 指定管理費の合計額が、債務負担行為設定額となる。